

企画部市民自治推進課

1 自治基本条例策定事業

(1) 米子市民自治基本条例検討委員会

この委員会は、自治基本条例を策定するにあたり、幅広い市民からの意見を参考にした「市民による市民のための条例づくり」を目指すために平成20年4月に発足した全員公募による委員会であり、平成22年4月27日に、作成した自治基本条例の素案を市長へ提出した。

ア 人数 24名

24名の委員とは別に、2名のアドバイザーを委嘱

※松下啓一氏（相模女子大学教授）・毎熊浩一氏（島根大学准教授）

イ 任期 平成20年4月23日～平成22年4月22日

ウ 任務 自治基本条例の素案をつくり、市長に提出する

エ 特徴

(ア) すべての委員が公募

(イ) 委員の年齢・職種が多種多様

(ウ) ボランティアとしての委員活動

(エ) 活動の広報や市民からの意見募集など、活動のすべてにおいて、委員が主体的に活動している

※ひとりでも多くの市民を巻き込んで素案をつくる⇒PI活動

※PI（パブリックインボルブメント）とは、合意形成手法の一つで、「パブリックコメント」が「市民に意見を求める制度」であるのに対し、「PI」は「市民に計画策定への参画を求める制度」。直訳は「市民を巻き込むこと」で、このことから「政策決定の過程において、市民に参加してもらう」という意味で使われるようになった。

※PI活動の手法

ワークショップ（KJ法・インタビュー方式など）・アンケート・街頭広報など

(オ) 自治を実践しながらの素案づくり

素案作成もさることながら、できるまでの過程が重要と位置付けている

オ 活動状況

(ア) 検討委員会（本会議）

※第1回～第16回は平成20年度中、第17回～第33回は平成21年度中において開催

	開催日時	議題
第34回	平成22年4月13日（火曜日） 午後6時32分から11時18分まで	●条例素案について ●答申文付属資料について

(イ) 代表者会

平成21年4月27日に運営委員会から引継ぐ形で発足。運営委員会同様、本会議で協議する内容を話し合うとともに、各部会の情報を交換し合いながら検討委員会の方針を話し合う会。

※第1回～第9回は平成21年度中において開催

	開催日時	議題
第10回	平成22年4月8日（木曜日） 午後6時32分から9時33分まで	●条例素案の議決の方法について（再検討） ●次回本会議の進め方について

(2) 内部職員への研修会

自治基本条例の策定意義、仕組み、考え方等に係る一般的な知識を習得するために、内部職員を対象とした研修会を実施した。

ア 日 時 平成22年7月1日（木曜日）午後3時から5時まで

イ 場 所 米子市立図書館2階大会議室

ウ 参加者 課長級職以上の職員 40名

エ 講師等 松下啓一氏（相模女子大学教授） 「自治基本条例で変わる、変える行政の組織と仕事」

2 米子市まちづくり活動支援交付金事業

市内で活動する団体が、地域課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、創意工夫して行う自主的・継続的な活動を支援するため、公募型の交付金制度により交付金を交付した。

本年度も、交付対象事業の規模等に合わせて、「ちょっこし活動コース」と「がいな活動コース」の2つのコースを設けた。5団体から応募があり、外部委員からなる選考委員会においてプレゼンテーションによる選考の結果、5団体の事業に交付金を交付した。

(1) 交付金額

ア 交付対象事業経費全額（上限8万円）

イ 交付対象事業経費の3分の2以内（上限30万円）

(2) 交付対象事業

ア ちょっこし活動コース

団体名	対象事業	交付金（千円）
福米東地区まちづくり協議会	福米東地域ふれあいのまちづくり事業	80
山陰sacca	米子コレクション～山陰発の秋トレンド～事業	80
四日市町まちなかれんが通りふれあい委員会	街を花いっぱいにする運動事業	80
戸上シニアクラブ	戸上地区内の環境整備事業	80
小計		320

イ がいな活動コース

団体名	対象事業	交付金（千円）
ミュージカル劇団ゆめ	ミュージカル劇団ゆめコンサート ダンスアンドソングス事業	300
小計		300
合計		620

3 ふるさと納税

(1) 次のとおりふるさと納税寄附があった。

ア 寄附者 2, 453人 (使途別では、2, 502件)

イ 寄附金額 39, 398, 097円

ウ 使途別の寄附金額集計

使 途	件 数	(%)	寄附金額	(%)
輝く子ども	634	25.3	8,105,817	20.5
中海再生	439	17.5	6,563,010	16.7
地域の力	288	11.5	4,439,936	11.3
歴史・文化	389	15.6	6,188,000	15.7
がいな米子	752	30.1	14,101,334	35.8
合計	2,502	100.0	39,398,097	100.0

エ 地域別の寄附金額集計

地 域	人 数	(%)	寄附金額	(%)
東京都	644	26.3	12,903,210	32.8
その他関東	755	30.7	10,736,151	27.3
大阪府	239	9.7	3,540,500	9.0
その他関西	242	9.9	3,553,000	9.0
中部	193	7.9	2,491,236	6.3
北海道東北	89	3.6	1,297,000	3.3
九州	80	3.3	1,157,000	2.9
中国四国	144	5.9	2,370,000	6.0
鳥取県内	25	1.0	445,000	1.1
米子市内	42	1.7	905,000	2.3
合計	2,453	100.0	39,398,097	100.0

(2) ふるさと納税促進・地元特産品等広告宣伝タイアップ事業の実施

平成21年度から実施している「ふるさと納税促進」と「地元特産品等広告宣伝」とのタイアップ事業を、内容をさらに充実して実施した。

ア 無償提供記念品 (3, 000円以上の寄附者全員に贈呈)

8社10品 (10月から9社11品)

イ タイアップ記念品 (無償提供記念品に加えて1万円以上の寄附者に贈呈)

29社36品

※平成21年度は、1万円以上の寄附者に1品贈呈していたが、本年度から、3万円以上の寄附者には2品贈呈することとした。

4 地縁団体認可状況

申請に基づき、次のとおり地縁団体の認可を行った。

自治会名	認可年月日
中西尾自治会	平成22年6月29日
アイリスタウン自治会	平成22年7月2日
錦海町自治会	平成23年3月28日

平成23年3月31日現在の認可地縁団体の総数は、65団体である。

5 コミュニティ施設等整備

米子市コミュニティ施設整備費補助金	31件	1,039,665円
自治総合センター宝くじ助成事業	1件	2,500,000円

6 ふるさとの歴史保存継承事業

歴史あるふるさとを愛する心を育て、ふるさとづくりを推進することを目的に、市内各地域の歴史を保存し、継承する事業である。福生地区記念誌作成実行委員会が行う記念誌「ふるさと福生の歩み」の発行事業に対して、100万円の補助を行った。

7 米子市自治連合会への協力・支援

活動内容

(1) 定例総会

平成22年5月23日 米子市文化ホールで開催した。新役員は、次のとおり。

会 長	梅林 浩史 (加茂)
副 会 長	岡田 茂 (明道)
〃	小林 壽 (住吉)
〃	永見 功 (富益)
〃	藤井 那庶 (永江)
会 計	小林 壽 (住吉)
監 事	森川 弘志 (大篠津)
〃	松井 克英 (永江)

(2) 会 議

正副会長会	15回
常任委員会	7回

(3) 常任委員研修視察

平成22年11月16日、自主防災組織の組織率アップに向けた取り組みについてをテーマに、奈良県生駒市自治連合会を視察した。常任委員を主とする各地区自治連代表等25名が参加し、取り組みの経過、情報交換を行った。

(4) 鳥取県自治会連合会総会

平成22年7月8日に鳥取市で開催され、正副会長が出席した。

(5) 自治会運営の手引き改訂版の編集発行

自治会の運営等に係る諸問題を解決し、もって自治会運営の円滑化を図ることを目的に、常任委員会に自治会運営の手引き編集委員会を設置し、改訂版を編集発行した。

8 自治会役員の永年勤続表彰

自治会の永年勤続役員（会長・副会長・会計・監事等）111人に対し、平成23年3月に感謝状と記念品を贈った。

9 市民総合災害補償制度関係

市が主催する行事又は社会奉仕活動等に参加した者が、その参加中において身体に傷害を被った場合に、被災者に対し米子市民総合災害補償金及び米子市市民活動等傷害見舞金を支給した。

(1) 傷害事故の発生状況（事故報告書提出分）

区 分		主 な 活 動	件 数
市が主催	社会体育活動	運動会、スポーツ大会等	43
	社会教育・生涯学習活動	学習会、公民館祭等	1
	社会福祉活動	保健相談、指導会等	
	住民が参加する行事	清掃活動等	
市が依頼した社会奉仕活動		清掃活動等	1
計			45

(2) 補償金及び見舞金の支給状況

区 分		市民総合災害補償金				市民活動等傷害見舞金	
		死亡給付金		入院・通院補償給付金		件数	金額（円）
		件数	金額（円）	件数	金額（円）		
市が主催	社会体育活動			41	1,920,000		
	社会教育・生涯学習活動			1	5,000		
	社会福祉活動						
	住民が参加する行事			1	5,000		
市が依頼した社会奉仕活動							
計				43	1,930,000		

10 国際交流事業

(1) 友好都市中国保定市

ア 中国保定市撮影家協会米子市訪問

平成22年5月15日から17日までの間、「中国保定市撮影家協会訪日団（8人）」が米子市写真家協会と交流を行い親交を深めた。

5月16日、米子ワシントンホテルプラザにて米子市写真家協会主催の歓迎レセプションが行われ、市長が出席した。

イ 米子市写真家協会保定市訪問

9月21日から28日までの間、「米子市写真家協会文化交流訪中団（7人）」が保定市を訪問し、保定市撮影家協会と交流を行い親交を深めた。保定市長への米子市長の親書を訪中団に託した。

ウ 中国人技能実習生の受入れ

平成22年11月、協同組合和田浜工業団地が保定市から中国人技能実習生6人を受入れた。これに伴い、中国国際交流員が実習生に対し、日本での生活習慣等についての講習を行った。(この受入れは平成14年度から継続して実施)

エ 保定市長からの親書

平成23年3月14日、東日本大震災の被災に対する保定市長からの見舞の親書が届いた。

(2) 姉妹都市韓国東草市

ア 米子市、東草市それぞれ相互に短期行政研修職員を派遣し、互いに行政施策についての研修を実施した。

(ア) 米子市派遣研修

派遣期間：平成22年10月24日～29日（6日間）

研修場所：東草市企画監査室国際交流係

派遣職員及び研修テーマ：作野 圭介 市税滞納整理の更なる進捗のための改善点の発掘、スキルアップ

高田 真吾 下水道事業及び使用料徴収事務の日韓比較

(イ) 東草市派遣研修

受入期間：平成22年10月24日～29日（6日間）

研修場所：米子市市民自治推進課国際交流室

受入職員：李 在 鴻（イ・ジェホン）、関 賢 貞（ミン・ヒョンジョン）

研修テーマ：・米子市の現況について

・河川改修事業における水害及び親水空間の事業現況について

・工事中に生じるクレーム解決策、行政対応について

・米子がいな祭りについて

・スポーツ団体の支援施策について

イ 東草市長当選祝いに対する親書

第5回韓国・統一地方選挙における蔡 龍 生（チェ・ヨンセン）東草市長の再選に対し、平成22年6月、お祝いの親書を送った。

ウ 米子市・東草市姉妹都市提携15周年記念事業

(ア) 平成22年4月2日、米子コンベンションセンター国際会議室において、鳥取県西部地区日韓親善協会主催により江原道内の韓国特産品の製造・販売業者19社を招請して、「韓国江原道東草市貿易推進交流商談会」が開催された。東草市の特産品（キムチ、海苔など）を紹介するとともに、米子市内の業者と商談・協議し、交流を深めた。

(イ) 平成22年8月6日～8月9日、「米子がいな祭」に合わせて、東草市から蔡 龍 生（チェ・ヨンセン）市長を団長とする代表団（10人）のほか、サムルノリ公演団（東草市立風物団10人）と特産品業者（4業者10人）を招き、パレードの参加や、韓国特産品の試食販売を行う「※東草市特産品フェア」を開催するなど市民に対して15周年をPRしたほか、記念式典を開催し、今後の交流について協議を行った。

※「東草市特産品フェア」・・・平成22年8月7日、8日の2日間、鳥取県西部地区日韓親善協会主催により、東草市内の特産品を扱う4業者を招請し、市内スーパーマーケット及び「米子がいな祭」特設ブースでキムチ、海苔などの試食・販売を行ったもの。

◎ 米子がいな祭：8月7日～8日 ◎ 記念式典：8月9日

◎ 東草市写真展：7月23日～8月10日（市役所本庁舎市民課ホールで開催）

(ウ) 平成22年10月15日～19日、東草市を代表する祭り「雪嶽（ソラク）文化祭」に米子市民俗芸能交

流団〔淀江さんこ節保存会〕（35人）を派遣し、東草市民に米子市の伝統芸能を披露して交流を深めた。

エ 米子市議会議員による東草市長並びに東草市議会議長への表敬訪問

平成22年8月23日から26日まで尾沢三夫議員と岩崎康朗議員が東草市の現状を視察する目的で東草市を訪問し、蔡龍生（チェ・ヨンセン）東草市長と金剛秀（キム・ガンソ）東草市議会議長を表敬訪問した。その際、東草市長への米子市長の親書を託した。

オ 東日本大震災（平成23年3月11日発生）の被災に対する東草市からの電報、親書及び義援金

(ア) 平成23年3月16日、東日本大震災の被災に対する東草市長からの見舞の電報と親書が届いた。

(イ) 平成23年3月29日、東草市企画監査室の金知潤（キム・ジユン）室長と鄭成勳（チョン・ソフン）企画協力チーム長が米子市を訪れ、東草市職員等の寄付による義援金543,000円を米子市長に手渡された。

その義援金は日本赤十字社に送金した。

カ 米子市東草市民間交流促進

両市の交流を市民レベルに拡大し定着させていくため、民間グループの交流について連絡調整等の支援を行い、交流の発展に寄与した。

(3) 環日本海諸国との交流

ア 環日本海拠点都市会議の開催

第16回環日本海拠点都市会議が中国・吉林省延吉市で開催され、市長他が参加し、参加都市代表者と環日本海地域の一体的な発展方策について協議した。

会議テーマ：環日本海地域の協力を強化し、図們江区域の協力開発

【議題1】環日本海都市間の友好交流及び経済交流の促進について

【議題2】環日本海都市間での図們江地域の協力開発について

【議題3】環日本海航路の物流集散の促進方策について

【議題4】環日本海都市間の多国籍旅行路線の構築について

開催期間：平成22年8月26日～28日

開催日：平成22年8月27日（首長会議）

開催市：中国・吉林省延吉市

参加都市：日本 / 米子市、境港市、鳥取市、新潟市

韓国 / 東草市、浦項市、東海市

中国 / 延吉市、琿春市、図們市

ロシア / ハサン区

(4) 国際交流員の雇用

JETプログラムによる国際交流員を雇用し、海外との連絡調整、翻訳、通訳等の業務を通じて、友好姉妹都市交流事業の円滑化を図った。また市内公民館、小中学校などでの国際理解講座や市民を対象とした中国語講座、韓国語講座を開催し、更には「おでかけ交流員出張サービス」を実施するなど市民の国際意識の高揚を図った。

・国際交流員（中国担当）：張 燕（チャン・イェン）

・国際交流員（韓国担当）：李 美 英（イ・ミヨン）

(5) 友好都市児童画作品展

ア 国際児童美術交流展

期間：平成22年6月11日～15日

会場：東草市文化会館

米子市をはじめとする東草市国内外友好都市の児童画作品展が開催された。

イ 国際児童絵画展

期間：平成23年2月4日～2月17日

会場：米子市児童文化センター

米子市児童美術作品展に併せて、米子市の友好・姉妹都市、中国・保定市、韓国・東草市の児童絵画を展示した。

(6) 地域国際化事業

ア 在住外国人及び地域国際化相談業務

来庁、電話等で寄せられる市内在住外国人の日常生活、言葉等に関する問題や一般市民からの地域国際化に関する問い合わせに対し、相談業務を行った。

イ 国際交流員による市民向け語学講座の開催（会場は米子市役所会議室）

(ア) 中国語講座

- ・中国語入門講座 15回シリーズ（昼の部／夜の部）

※ 平成22年4月20日～平成22年8月3日

- ・中国語初級会話講座 12回シリーズ（昼の部／夜の部）

※ 平成22年11月2日～平成23年3月1日

(イ) 韓国語講座

- ・韓国語入門講座 15回シリーズ（昼の部／夜の部）

※ 平成22年4月22日～平成22年8月26日

- ・メディアで学ぶ韓国語講座 12回シリーズ（昼の部／夜の部）

※ 平成22年11月4日～平成23年2月3日

ウ 国際理解講座の開催

- (ア) 市内の小学生（3年～6年）を対象に、中国・韓国の文化や料理を紹介する「国際理解講座（わくわくアジア体験くらぶ）」を開催し、小学生の国際意識の啓発に寄与した。

期間：平成22年7月に計5回

会場：児童文化センター及び就將公民館 参加者：17人

- (イ) 市内の65歳以上の高齢者を対象に、中国・韓国の文化や料理を紹介する「国際理解講座（いきいきアジア体験くらぶ）」を開催し、高齢者の国際意識の啓発に寄与した。

期間：平成22年10月に計5回

会場：ふれあいの里及び明道公民館 参加者：9人

エ ペラっとハングルスピーチコンテストの開催

鳥取県西部地区の住民を対象に韓国・朝鮮語のスピーチコンテストを開催し、日ごろの学習の成果を競いながら情報交換し、交流を図った。

開催日：平成23年3月6日

会場：米子市ふれあいの里大会議室 発表者：19人（来場者約200人）

オ 民間交流支援

- (ア) 韓国・湖西大学校（忠清南道）の市長表敬訪問

平成22年8月3日、SIFN 山陰国際交流連絡会の受入れにより、韓国・忠清南道にある湖西大学校の学生14人が米子市を訪問、米子市長を表敬し、情報交換を行いながら交流を深めた。

- (イ) 日韓トンネル推進鳥取大会実行委員会の市長表敬訪問

平成22年9月14日、日韓トンネル推進鳥取大会実行委員会が日韓トンネル建設を推進する許文道（ホ・ムド）韓国元統一部長官とともに米子市長を表敬し、日韓トンネル建設という壮大な構想につ

いて意見交換を行ないながら交流を深めた。

(ウ) 米子中央ライオンズクラブ冬期来日交換生の市長表敬訪問

平成23年1月6日、米子中央ライオンズクラブ受入れ青少年交換生のマレーシアの高校生チェウ・ウィー・ニーさんが米子市長を表敬し、意見交換を行いながら交流を深めた。

(エ) 財団法人エイ・エフ・エス日本協会留学生の市長表敬訪問

平成23年2月1日、財団法人エイ・エフ・エス日本協会留学生のマレーシアのアンソニー君が米子市長を表敬し、約1年間の米子市滞在の報告を行った。(フレンドシップフォース鳥取の会員による受入れに伴うもの)

カ 市民ボランティア育成事業

市内在住外国人の生活支援を目的とする市民ボランティア団体「米子国際交流協会」の活動に対し支援を行い、外国人にとって住みやすいまちづくりと草の根交流の促進を図った。

(ア) 広報紙の作成配布及びホームページ公開

- ・広報紙「ワイズジャーナル」年1回発行(30部)
- ・米子国際交流協会ホームページへのアクセス 年間860件(総数12,790件)

(イ) 各種交流事業の開催

- ・バーベキュー交流会(野外レクリエーション活動)

日時：平成22年8月29日 午後4時～6時 場所：皆生プレーパーク 参加者：80人

- ・料理教室の開催

日時：平成22年10月24日 イタリア料理教室 場所：明道公民館 参加者：25人

- ・国際井戸端会議(オーストラリア)

日時：平成23年3月27日 午後2時～3時30分 場所：明道公民館 参加者：22人